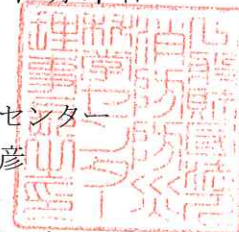


消防セ発第172号

令和元年12月11日

一般社団法人日本ショッピングセンター協会会長 様

一般財団法人消防防災科学センター
理事長 市橋 保彦



「超大規模防火対象物等の図上訓練支援業務のご案内」の送付について

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素から当センターの業務に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、総務省消防庁の「大規模地震等に対応した消防計画作成ガイドラインの改訂について（平成31年3月22日付消防予第96号）」において、超大規模防火対象物等においては自衛消防組織の本部隊を対象としたシナリオ非提示型図上訓練の実施が特に望ましいとされ、また、「超大規模防火対象物等における自衛消防活動のあり方に関する検討部会報告書」（平成31年3月）においては、今後の取組として、シナリオ非提示型図上訓練の充実・強化に向けた取組を促進するうえで、知見や実績がある団体等において、訓練のシナリオ作成や訓練時の想定付与といった訓練の実施を支援する取組が行われることが望ましいと提言されたところです。さらに、消防庁予防課において作成されたシナリオ非提示型図上訓練実施要領のポイントを整理したリーフレット（「超大規模施設における多数の在館者の安全な避難誘導のために。」令和元年10月29日付消防庁予防課事務連絡）においても、訓練シナリオ作成や訓練時の状況付与等を実施することができる知見や実績がある団体等との連携も有効と記述されているところです。

上記検討部会における実証検証訓練の運営の実績等を有する当センターにおいては、これらを踏まえ、このたび、超大規模防火対象物等における自衛消防訓練の実施を支援するため、別添のとおりシナリオ非提示型図上訓練支援業務の案内を作成いたしました。

つきましては、超大規模防火対象物等における図上訓練の取組強化の参考としていただきたく、会員各位への本業務案内のご周知につき特段のご配慮を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

問合せ先

(一財) 消防防災科学センター
消防支援室

担 当 : 山崎、大賀、平野

T E L : 0422-24-7811

F A X : 0422-46-9940

E-mail : s-keikaku@isad.or.jp

<巨大ビルの安全のために>

超大規模防火対象物等のシナリオ非提示型図上訓練支援業務のご案内

一般財団法人消防防災科学センター

- **超大規模防火対象物等**でのシナリオ非提示型図上訓練の実施が**特に望まれています!**
- 自衛消防組織の設置義務がある**大規模防火対象物**でもシナリオ非提示型図上訓練の実施が**望まれています!**

(総務省消防庁 大規模地震等に対応した消防計画作成ガイドラインの改訂 平成 31 年 3 月 22 付 消防予第 96 号通知)

超大規模防火対象物等

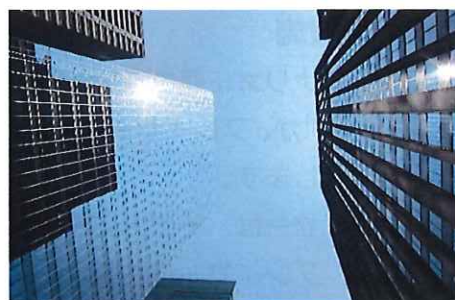
超大規模防火対象物等とは、「超大規模防火対象物」及び「大規模、高層の建築物が地下部分や駅施設等を介して複雑に接続された超大規模な建築物群」のことをいい、「超大規模防火対象物」とは、自衛消防組織の設置義務対象のうち、次の全てに該当する防火対象物です。

○不特定多数の者が利用する特定防火対象物(※)、
駅舎、空港

○収容人員が 1 万人以上

○高さが 200 m 以上又は延べ面積が 20 万㎡以上

※ 特定防火対象物とは、百貨店、旅館、地下街など多数の者が出入りする防火対象物で、消防法施行令で定める。



シナリオ非提示型図上訓練のねらい

- シナリオ非提示型図上訓練とは、コントローラーから刻々と付与される**仮定の災害状況**に対し、プレイヤーが災害を疑似的に体験しながら、その役割に応じた**的確な状況判断**を行っていく訓練です。
- 自衛消防隊がシナリオ非提示型図上訓練を行うことにより、**指揮能力・状況判断能力・避難誘導能力等が向上し、自衛消防組織の活動をより有効に機能させることができます。**
- 地震や火災による、通信・情報の途絶、電気・ガス・水道等インフラの遮断、多数傷者の発生等、図上訓練で実施する災害対応の多くは、BCP（事業継続計画）の対応と関連するので、**全社的な危機管理能力の向上に効果を発揮します。**

シナリオ非提示型図上訓練内容と当センターの支援業務

○訓練参加者

プレイヤーは、本部隊において、隊員や地区隊を指揮する自衛消防隊長となります。状況に応じて、指揮担当や情報担当等の補佐役を参加させることもできます。



○シナリオ作成

- ①シナリオは、現実が発生し得る対応困難な災害事象を時系列で作成します。ご要望により、地区隊との連携も作成します。
また、シナリオには、付与する災害事象と想定されるプレイヤーの対応を併記します。
- ②シナリオは、防災センターの管理者側と協議を行い、訓練目的や期待される効果を満たすものに仕上げます。
なお、シナリオは、プレイヤーに非開示とします。
- ③作成されたシナリオは、被害想定等を変更することにより、別の図上訓練のシナリオとして活用することができます。

○訓練の実施

- ①訓練シナリオに基づき、進行を管理するコントローラー（センター職員）が、プレイヤーに災害の状況等を口頭及び状況付与カードで付与します。
- ②プレイヤーは、その対応を判断し、コントローラーに回答します。
また、プレイヤーは、状況に応じて補佐役に報告を求めます。
- ③訓練終了後、訓練参加者、防災センター管理者側及び危機管理担当者等による振り返りを実施します。
また、シナリオで想定されたプレイヤーの対応と実際のプレイヤーの回答を比較検討します。
- ④訓練及び振り返りは防災センター又は会議室等で行います。所要時間は概ね2時間です。

○消防計画の見直し・報告書作成

- ・ご要望に応じ、消防計画の見直しの提言や訓練結果報告書を作成します。

図上訓練の費用

○図上訓練の費用は、事業所のご要望内容及び対象物の態様等によって異なりますので、当センターまでお問い合わせください。

○総務省消防庁のリーフレット「超大規模施設における多数の在館者の安全な避難誘導のために。」においても、「訓練のシナリオ作成や訓練時の状況付与等を実施することができる知見や実績がある団体等との連携も有効です。」とされています。

○当センターは、訓練のシナリオ作成や訓練時の想定付与など、シナリオ非提示型図上訓練の実施を支援する知見や実績のある団体と認められ、平成30年度に総務省消防庁から受託し、4カ所の超大規模防火対象物等のシナリオ非提示型図上訓練の実証訓練を実施しています。事業所からのご要望を受け、超大規模防火対象物等におけるシナリオ非提示型図上訓練の企画立案と訓練支援を受託します。

○当センターは、毎年度総務省消防庁や各消防本部等の公的機関から多数の消防防災に関する事業の委託を受けています。

お気軽にご相談ください。

【問合せ先】 一般財団法人消防防災科学センター 研究開発部 消防支援室

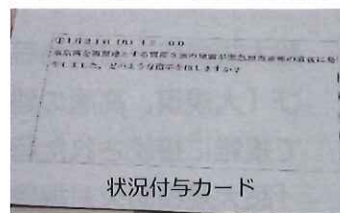
担当：山崎、大賀、平野 (三)

〒181-0005 東京都三鷹市中原 3-14-1

TEL：0422-24-7811 メール：s-keikaku@isad.or.jp FAX：0422-46-9940

訓練シナリオ及び想定付与状況の対応

想定 時間	コントローラーの想定付与	想定される隊員の対応
12:00	①12月21日(月) 12:00 東京都豊島区にある商業施設の 地震が緊急地震速報の発生を発生 しました。どのような指示を出し ますか?	○地震発生後の指示 ・被害状況確認 ・けが人の確認 ・一時避難誘導の安全を確認の上 ・避難者に対し、建物と向き合って ・エレベーター・エスカレーター ・上(日本橋・五反田)への自動での ・退避指示
12:03	②総合操作室にマーケットプレイス 5階エアーサイドの人員が指示さ れました。どのような指示を出し ますか?	○「●●●隊」に指示指示 (次の種 別、消火器、マスターキー、機密無 断権の発行) ○副隊長に、総合操作室の閉鎖での 確認とエレベーターの確認を指示
12:04	③5階「△△△(飲食店)」の地区 隊員から内線電話で、とんかつ店 厨房の面積から出入したとの報告 がありました。どのような指示を出 しますか?	○「●●●隊」に真偽等のさらに 具体的な情報を報告するよう指示 ○人員配置、退避避難経路に119通 報及び内部指示の指示 ○「●●●隊」に初期消火、逃げ遅 れ、けが人の確認を指示
12:05	④消防本部から無線機で、5階エアー サイド「△△△(飲食店)」厨房 付近延焼中の報告がありました。 どのような指示を出しますか?	○指示付与で、5階の各地区隊に初 期消火・避難誘導協力指示 ○6階から7階の避難誘導を指示 ○副隊長に、次の指示 ・5階の空調機の停止
	⑤5階及び6、7階に被害状況が報 告されました。どのような指示 を出しますか?	○次の案内放送を指示 ・5階から7階の乗客は自動消 防隊員の指示に従って避難開始 ・それ以外の階の乗客は指示があ るまでその階に居るよう指示
	⑥消防本部から、地震による 火災多発のため避難隊の到着遅れも	○副隊長に次のとおり指示 ・当面自衛消防隊のみで対応するよ



状況付与カード